

まちなかフリーパスについて

1. 概要

■ 目的

更なる利用者の増加を目的にまちなかフリーパスの発展形として新たにまちなかフリーパスを導入。

(まちなかフリーパスについて)

- ・ 令和3年4月～令和6年3月まで、社会実験方式で運行。
- ・ 利用実績は、運行当初から伸び続け、目標500人/日に対して令和5年度は529人/日。
- ・ 運転士不足が深刻化していることから令和6年度以降の事業継続が困難となった。

■ 内容

(継承した内容)

中心市街地の回遊性向上を図り、公共交通利用者の増加等

(発展した内容)

① 対象範囲の拡大

まちなかフリーパス：中心市街地内の4バス停沿線

まちなかフリーパス：熊本市内中心部180円均一エリア全体

② 対象便数の拡大

まちなかフリーパス：1日43便

まちなかフリーパス：794便（土曜日）※熊本市役所前通過便数(通町筋方面) R6年1月時点

■ 実施概要

販売開始日：9月7日（土）

対象エリア：熊本市内中心部180円均一エリア（右図参照）

対象日：土日祝日のみ（購入は平日も可能）

対象交通機関：路線バス

券種：デジタルチケット（RYDE PASS）

販売金額：300円（小学生以下2名まで無料）



▲熊本市内中心部180円均一エリア

2. 今後の展開

[令和6年度]

- ・ 路線バスを対象に、まちなかフリーパスの実証実験を実施。
- ・ まちなかフリーパスの利用者数やアンケート調査による効果分析を実施。

[令和7年度以降]

令和6年度の成果を踏まえ、市電やシェアサイクル、商業施設などと連携した取組についても検討。